

# 東近江市地域包括ケアシステムの 構築に向けた取組みについて



東近江市健康福祉部  
福祉総合支援課  
(地域包括支援センター)

2020.1.16

# 1. 東近江市の概要

- 東近江市は、日本のほぼ中央部、滋賀県の南東部に位置し、東は三重県境の鈴鹿山系から、西は琵琶湖まで東西に長くのびるまちです。
- 平地や丘陵地が広がり、緑豊かな田園地帯を形成しており、豊かな自然に恵まれています。
- 平成17年と平成18年の2度の合併により、隣接する1市6町がひとつとなりました。



面積：約388 km<sup>2</sup>      人口：114,186人 平成31年4月  
高齢者数：29,596人（高齢化率25.9%）  
要介護認定者数：4,704人（認定率15.9%）



## 2. 東近江市の高齢者を取り巻く動向

### 【人口動向】

人口は緩やかに減少し、65歳以上の高齢者人口は増加して、高齢化率は2025年には、28%になるものと推計。

### 【世帯動向】

高齢者のいる世帯が増加していて、特に独り暮らし及び夫婦のみ世帯(どちらかが65歳以上)の増加が著しく、2015年には、7,875世帯で高齢者世帯が43.7%となっています。

### 【要介護認定者の動向】

要介護認定者数は、増加を続けていますが、第1号被保険者数に占める第1号の要介護認定者数の割合(認定率)は、横ばいになっています。

団塊の世代が全て75歳以上になる2025年には要介護認定者等総数は約5,700人、認定率は18.5%と推計。

# 3. まちづくりを考える、身近な地域

14地区のまちづくり協議会



市役所本庁



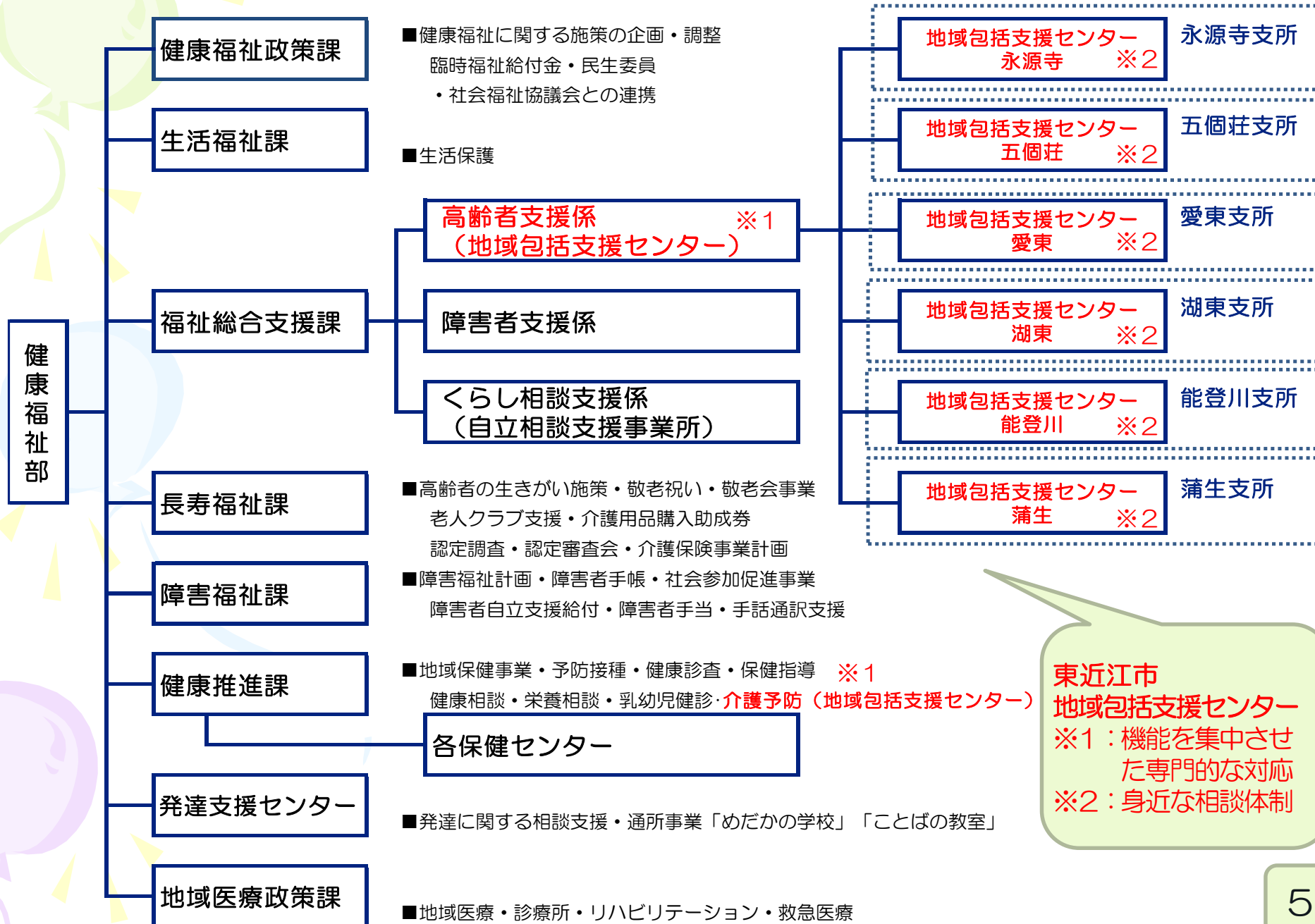
★6支所



地域との協働  
行政との連携役

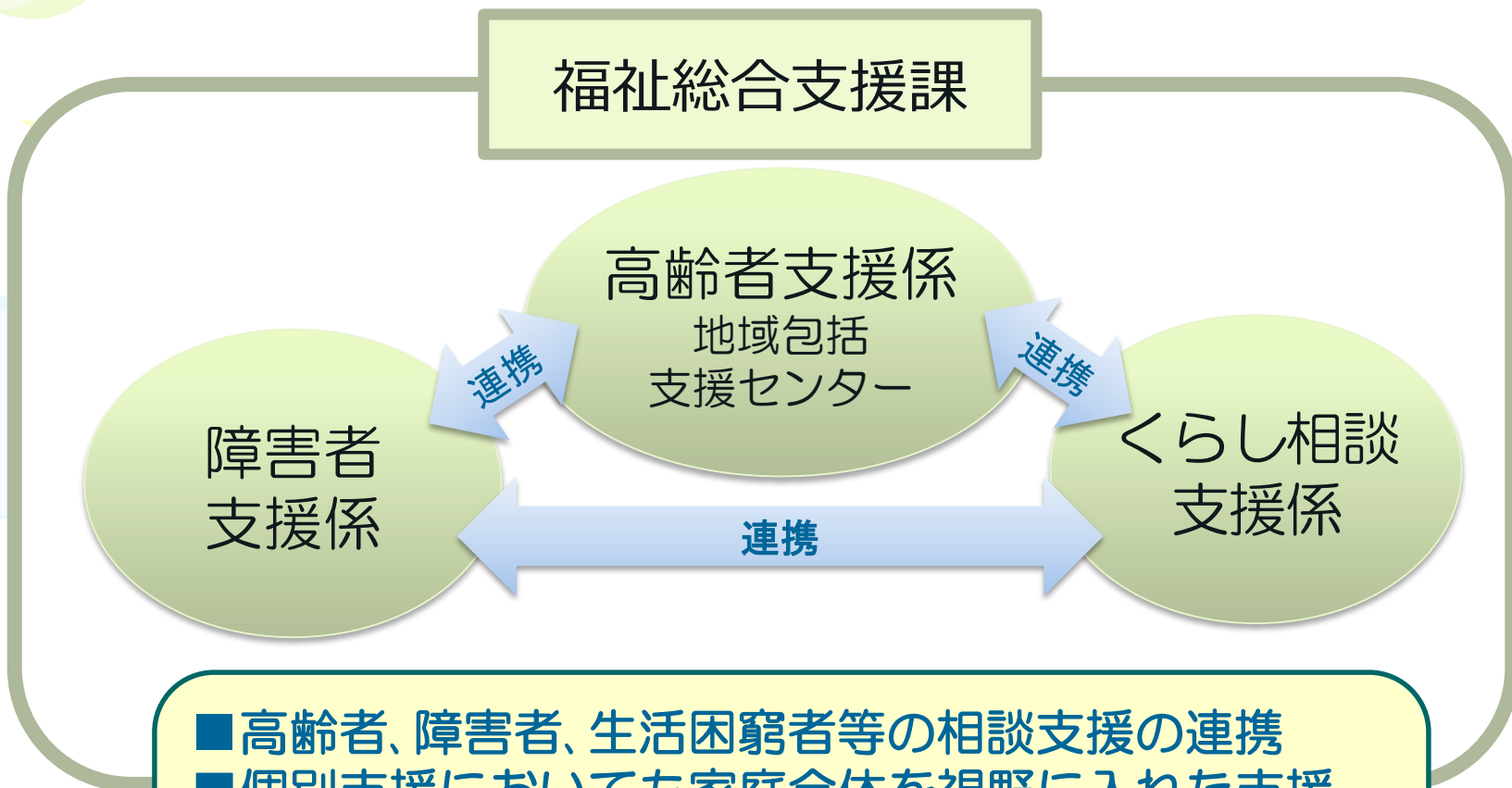
全まちづくり協議会に、市職員  
が地域担当職員として参加

# 令和元年度 健康福祉部組織体制図



東近江市  
地域包括支援センター  
※1：機能を集中させた専門的な対応  
※2：身近な相談体制

# 福祉総合支援課について



- 高齢者、障害者、生活困窮者等の相談支援の連携
- 個別支援においても家庭全体を視野に入れた支援  
個人単位、制度別の縦割りの対応から  
⇒ 世帯単位で捉え、各制度が連携した支援体制へ  
庁内外の関係機関・多職種と連携

## 4. 地域包括ケアシステムの構築

地域包括ケアシステムとは、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制。

### 【東近江市での取り組み】

- ①在宅医療・介護連携の推進
- ②自立支援型の介護・予防の推進
- ③認知症施策の推進
- ④多様な生活支援・  
介護予防サービスの確保



# ①在宅医療・介護連携の推進

## ◆在宅医療・介護連携会議

- ・ 医師会、保健所、介護支援専門員、地域包括支援センターが参加して在宅医療と介護の連携推進について検討
- ・ 目標の共有と、それぞれの役割や協力体制の確認

重度や終末期でも在宅生活が  
選択できる体制と意識づけ

## 【今後の取組みについて】

- ・ 在宅医療、在宅看取りの充実に向けた『かかりつけ医』の推進（体制整備と市民啓発）
- ・ 多職種連携推進のための勉強会等の実施



# ①在宅医療・介護連携の推進

## ◆医療との連携ワーキング会議（月1回開催）

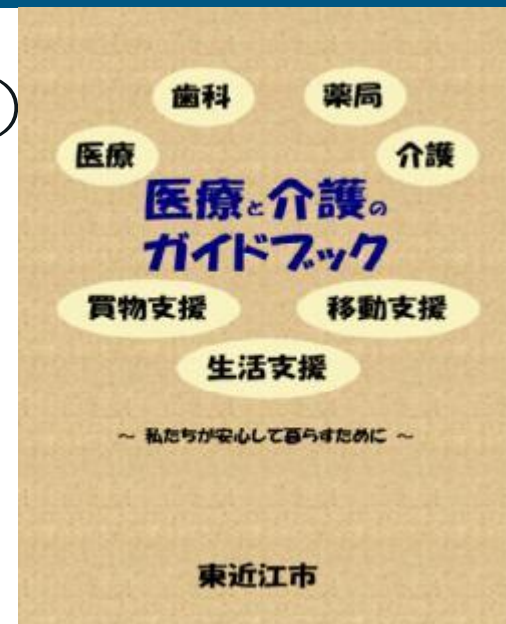
- ・介護支援専門員の代表者10名で実施
- ・医療関係者および介護サービス事業所等の関係者間の連携と市民啓発が目的

### 【これまでの取組み】

- ・入退院時の情報連携シートの作成
- ・看取り支援の事例集&意見集
- ・認知症啓発冊子の作成・認知症啓発劇
- ・医療と介護のガイドブック作成
- ・病院の地域連携室との情報交換会

### 【成果】

介護支援専門員が主体となり、課題の解決に向け検討することで、連携が進んでいる



パスやツールも必要だが、大切なことは顔の見える関係（連携）

# ①在宅医療・介護連携の推進

## ◆日常生活圏域等多職種勉強会への参画

### 『三方よし研究会』

- 医療機関、介護サービス事業所、地域住民が参加
- 保健所・医師会が中心となって平成19年開始
- 担当制で月に1回の研修会を開催
- 顔の見える関係が身近な地域でできたことで、  
スムーズな連携・協力体制が構築

### 『子三方よし研究会』 『多職種連携会議』

- 三方よし研究会がきっかけで、もっと身近な地域  
(支所単位)での多職種勉強会として開始



# ①在宅医療・介護連携の推進

75歳到達で、これまでや、  
これからを考える機会に

## ◆ウェルカム事業

- 後期高齢者医療制度（75歳到達）についての説明会  
市内4会場×12回（月1回）
- 高齢者健康診断、適正受診について
- 介護予防のための運動指導・栄養指導の実施
- 終活について、家族で話すことの大切さ

## ◆在宅医療講座の実施

- コミュニティセンター事業に在宅医療講座を取入れ、身近なところで、在宅医療について考える機会

## ◆地域から医療福祉を考える市民フォーラムの開催

- 健康記念の日（2月11日）に市民フォーラム

## ②自立支援型の介護・予防の推進

### ◆自立支援型の介護の推進

- ・ケアマネジメント実施事業所等連携会議（年間7回）で研修会等を実施し、介護支援専門員の自立支援に向けたケアマネジメントの取組みの推進

介護サービス事業所が事例提供することにより、積極的に参加

### ◆地域ケア会議

- ・地域ケア個別会議を開催し、介護サービス従事者の自立支援に向けた取組の実施について検討（3圏域×8回）  
理学療法士、作業療法士、管栄養士、歯科衛生士等が参加し、自立支援の視点や取組みについての助言・指導  
（民間事業所の主任介護支援専門員が運営・助言）  
（リハビリテーション活動派遣事業への展開）
- ・地域ケア推進会議での地域課題の検討（3圏域各1回）

# 「地域ケア個別会議」「地域ケア推進会議」の仕組み

## 地域ケア推進会議

八日市  
蒲生

永源寺  
愛東・湖東

五個荘  
能登川

地域の共通課題や社会資源について協議

参画者の所属する  
組織で検討・実践

政策の実現  
基盤整備

政策の提案、課題の報告

## 全体地域ケア会議

介護保険運営協議会・高齢者保健福祉推進会議等で協議  
⇒介護保険事業計画・障害福祉計画等の行政計画に位置づけ

生活圏域における  
課題やニーズを集約

## 地域ケア個別会議

自立支援を目指して多職種でケアプランを検討

地域の多職種  
勉強会

気づきの  
事例勉強会

地域包括ケアマネ勉強会

要支援者・要介護者を元気に！

ケアプラン実行  
評価・見直し

ADL  
IADL  
向上

QOL  
向上

三方よし  
研究会  
(小三方よし等)

東近江認知症  
ケアネットワ  
ークを考える

医療福祉・  
在宅看取りの  
地域創造会議

- ・多職種協働による協議  
理学療法士、作業療法士、  
歯科衛生士、管理栄養士など
- ・自立を阻害する要因の追及
- ・インフォーマルサービスの活用



## ②自立支援型の介護・予防の推進

### ◆地域リハビリテーション活動支援事業

#### 『地域リハビリテーション活動支援事業』

- ・住民主体の活動にリハビリテーション専門職を派遣し、より効果的な介護予防の取組みを推進

住民主体の活動に  
介護予防の視点

#### 『リハビリテーション活動派遣事業』

- ・介護サービス事業所（通所介護、訪問介護等）にリハビリテーション専門職を派遣し、自立支援に向けた視点や取組みについての助言・指導

介護サービスの中に  
自立のための視点

#### 『介護サービス事業所地域デビュー事業』

- ・介護サービス事業所従事者が地域活動に参加

介護サービス従事者  
と地域との連携

# ③認知症施策の推進

平成30年度

## ◆家族介護継続支援事業

- 家族介護者の会への支援：9団体
- 「介護者のつどい」の開催：年3回 89名

## ◆認知症啓発事業

- 認知症サポーター養成講座  
【市】4回シリーズで開催  
【キャラバンメイト】随時開催：32回  
(延べ918名受講 企業・学校等への啓発)

## ◆認知症見守りネットワーク事業

- 地域密着型サービス事業所に委託：10ヶ所
- 認知症カフェ（加算事業）：5ヶ所

## ◆認知症徘徊高齢者に対する見守り

- QRコードを活用した身元確認



# ③認知症施策の推進

## 東近江市認知症初期集中支援チーム

### 東近江市 福祉総合支援課

地域包括支援センター(直営)

#### 【支援チーム員】

- ・看護師 2名
- ・理学療法士 1名
- ・社会福祉士 1名

- ・理学療養士 1名
- ・社会福祉士 2名
- ・社会福祉主事 2名

連携

### 東近江市 各支所

地域包括支援センター  
(ブランチ6か所・直営)



### 認知症初期集中 支援チーム

医療や介護サービスの  
利用につながることで、  
困難ケースについて、  
6ヶ月集中して支援し  
ていく。

※地域包括支援センター  
内に設置

### 認知症疾患医療センター 近江温泉病院

#### 【支援チーム員】

- ・サポート医 1名
- ・作業療養士 1名
- ・精神保健福祉士 1名

### かかりつけ医

#### 【支援チーム員】

- ・医師 1名



# ③認知症施策の推進

## ◆認知症初期集中支援チーム員会議

### <チーム員会議での検討事例>

- 対応初期の支援
- 初期認知症の支援
- 若年認知症の支援

❁明らかに認知症であると思われるが、病院受診につなげることが困難

❁認知症だけでなく精神疾患等があると予想され、対応に専門的アドバイスが必要

❁必要に応じてチーム員が訪問し、具体的な対応方法等について検討

- 平成27年度10月から、  
2カ月に1回開催
- 平成30年度：38人のケース検討



# ③認知症施策の推進

## ものわすれ

## 相談室



予約制 無料

### 知って備えれば、安心！

●3つの「すまいるプログラム」で、脳と心の元気を維持しよう！

#### ①すまいるタッチ

最新式のタッチパネルを使って、簡単な質問に答えていただくことで、脳の元気を確認することができます。



#### ②すまいるシート

簡易なチェックシートを使用して、生活の中で自信を持って出来ていることや、困っていることなどを確認していきます。



#### ③すまいるアドバイス

上記のチェック結果を参考にしながら、認知症の予防や、すこやかな暮らしを維持していくための取り組み等について、専門職からアドバイスをさせていただきます。

日頃の心配事なども、ご相談ください。



#### ●申し込み・問い合わせ先

東近江市役所 福祉総合支援課

電話 0748-24-5641

IP 電話 050-5801-5641

#### ●所要時間：約30分

## ものわすれ相談室

◆月に1回開催（コミセン、市役所等）  
平成30年度 27人実施。

◆最新式タッチパネルを使用

平均所要時間は1人あたり30分程度

→相談室に来られない人については、  
タッチパネルを持って個別訪問や  
地域サロン等での実施

◆相談後の対応

❁経過観察：半年～一年後に再度タッチパネル実施を勧める

❁医療機関受診勧奨

❁その他：個別訪問対応など

# ④多様な生活支援・介護予防サービスの確保

## 多様な主体による生活支援・介護予防サービスの重層的な実施

○高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による重層的な生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築が必要

- 地域にある人材や活動を「地域の宝物」として、発見して磨きあげる
- 生活支援ボランティア等の地域の自助・互助の取組を育成・支援
- 「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」や協議体が地域課題やその解決に向けた検討を推進。連携の体制づくりや活動のマッチングを行う

### 生活支援・介護予防サービスの提供イメージ

市町村単位の圏域

小学校区単位の圏域

自治会単位の圏域

介護者支援



外出支援



食材配達



安否確認



家事援助



交流サロン



配食+見守り

権利擁護



声かけ



コミュニティ  
カフェ

移動販売



事業  
主体

民間  
企業

N P O

協同  
組合

社会福  
祉法人

ボランティア

等

# 介護予防・日常生活支援総合事業

## 第1層・第2層協議体／生活支援コーディネーター

- ◆第1層生活支援コーディネーター  
(地域支え合いコーディネーター)  
東近江市社会福祉協議会に委託

- ◆第1層協議体：平成28年3月に第1回開催

『地域支え合い推進協議体 いっそう元気！東近江』

3部会①暮らしを豊かにするための外出支援プロジェクト

②農で活躍プロジェクト

③住民と医療・福祉の専門職がつながるプロジェクト

- ◆まちづくり単位である14地区を第2層として設定  
⇒地区の課題や取組みについては全地区で検討している  
⇒3地区を、第2層協議体として委託

平成27年度から、日本福祉大学に事業推進を目的に  
調査研究・助言をいただいています。

平成27年度から「新しい地域支援事業を考える会」を開催。  
考える会メンバーを核として第1層協議体を開催しました！



## 自治会 (小地域)

見守り・支え合い  
困りごとに気付く  
困りごとをつなぐ

暮らしの  
お手伝い

見守り  
会議

サロン  
集いの場

- 自治会
- 民生委員
- 福祉委員
- 有志
- サロンV
- 集いの場  
参加者

## 地区 (14地区)

- 地区社協
- 住民福祉活動  
推進会議
- まち協
- 自治連
- 民児協
- 生活支援センター
- 地区VC
- 各種団体

第2層協議体  
地区の支え合いの地域づくりについて話し合う

- コミセン
- 医療の専門職
- 福祉の専門職
- 社会福祉法人
- 民間の商店
- 企業
- 農家
- 思いをもつ人

## 東近江市 (市域)

高齢者保健福祉推進会議  
介護保険運営協議会  
地域包括支援センター運営協議会

事業やサービスの  
進捗管理・評価

地域福祉計画推進委員会

進捗報告  
課題提起

第1層協議体  
『いっそう元気！  
東近江』  
東近江市に今必要な  
ことを見出し、豊かに  
暮らせる地域づくり  
について話し合い  
実践。

課題提起

地域  
支え合いCO  
定例会

個別支援から地域に  
必要な資源を考える

医療と介護  
ワーキング  
会議

個別ケア  
推進会議

課題提起

認知症  
見守りネット  
ワーク会議

- 福祉総合支援課
- 健康福祉政策課
- 長寿福祉課

## 東近江圏域

医療と福祉を  
地域から考える  
東近江懇話会

三方よし  
研究会

働きかけ  
課題提起

働きかけ  
課題提起

連携・協働

連携・協働

# 地域支え合い推進協議体 いっそう元気！東近江



住民、医療福祉の専門職などが互いの強みやアイデアを持ち寄り、必要な地域づくりについて話し合う場

# いっそう元気！東近江の取り組み



協議体メンバーがそれぞれの立場で活動  
する中で見えてきた、地域や住民の暮らし  
の困りごと等を共有。

そこから見えてきたテーマからプロジェ  
クト会議を立上げ、協議を行う。

- ①暮らしを豊かにするための外出  
支援プロジェクト
- ②農で活躍プロジェクト
- ③住民と医療・福祉の専門職がつ  
ながるプロジェクト

# 暮らしを豊かにするための外出支援プロジェクト

地域支え合い推進協議体 いっそう元気！東近江

いきがい  
を支える

暮らし  
を支える



「いきがいを支える」外出支援を考えていく！

- ・ 公共交通機関があっても、どのように利用したら良いか分からない人もいる。  
使い方がわかれば利用する人もいるのでは…
- ・ 地域には外出を支える取り組みや資源はあるが、担い手が足りていない。  
資源の整理・担い手づくり・資源を増やしていくことが必要。



# 農で活躍プロジェクト

地域支え合い推進協議体 いっそう元気！東近江

## ねらいは… 『いきがい農業』の推進！

東近江市において農業は暮らしから切り離せない。  
いきがいづくりや社会参加の機会となり、介護予防につながる！

野菜などをお裾分けできる機会づくり

野菜づくりをしたい人の居場所づくり

農業の担い手づくりと人財バンクづくり

## 『おすそわけ野菜市』の開催



25



# 住民と医療・福祉の専門職がつながるプロジェクト

地域支え合い推進協議体 いっそう元気！東近江

## 《見えてきた課題》

介護保険サービス  
が目指すのは…  
『自立支援』  
世話になるという  
イメージ

地域とのつながり  
を切らない支援  
サービスを使いな  
がら地域で暮らす

なぜ、住民と専門  
職がつながるの？  
お互いができる  
役割とは？

事例をもとにわかりやすく伝えられないか…  
住民の思いを聞き、つながるきっかけができないか…  
身近なこと、自分のこととして考えてほしい。

まずは寸劇で伝えよう！「退院後の暮らし～あなたならどうする？」  
「いっそう元気！東近江」メンバーと一緒に寸劇で地域へ出かける

# 住民と医療・福祉の専門職がつながるプロジェクト 27





東近江市